

痴生兵衛恐懼慚愧シテ大先生閣下ニ懇願ス、生曩者 閣下ノ

御厚情ニ依リ幸ヒニ陸軍士官生徒ノ員ニ備ハルヲ得、実ニ高恩

謝スル処ヲ知ラス之ニ報スル所以ヲ思フ、而シテ入校爾来一層奮勵以テ

大ヒニ学ブ所アラントス、而シテ未タ月ヲ越エサルニ又頻リニ瓦解ノ色ヲ見ハシ方向曖昧ニ

属スルモノアリ、先般清国ト紛紜アリ正ニ干戈ヲ動サントスルノ勢アリ、是ニ於テ陸軍

士官生徒ヲ募ル、生モ亦員ニ列スルヲ得、今ヤ両国和議已ニ成リ又警ム可

キノ事ナキニ至リ、今般更ニ御布告アリ退校望ノ者ハ之ヲ許シ、且士官生徒

成業ノ期ヲ伸シ其期ニ至ルモ常備軍ノ士官ヲ以テ待シ難シ、後備軍

ノ上下士官ニ命セラルヘクト頻リニ退校ヲ促シモノ、如シ、生力之ヲ見ルヤ且驚且

怪ミ殆ント失望カ如シ、而シテ生徒之ヲ見テ退校ヲ乞フ者已ニ半ニ過ク、然レ共

生ハ未タ之ヲ断セサルナリ、而シテ 閣下ニ謁シテ其明決ヲ仰カントス、屢々高門ニ

走ル、然レトモ 閣下王事鞅掌ノ際未タ謁ヲ取ル能ハサルナリ、故ヲ以テ今敢

テ書ヲ以テ上陳シ以テ其明教ヲ仰カントス、夫レ前条ノ如ク御布告アリ長ク此校ニア

リト雖トモ、他日成業ノ後トイヘトモ生ヲ知ル人ナキ寸ハ碌々トシテ志ヲ得ル能ハサルナリ、又幸ヒニ

知ラル、モ亦下士タルニ過キサル寸ハ、生不肖トイヘトモ又愧ル所ニシテ実ニ安ンセサル所ナリ、

然ラハ如何シテ可ナルヤ、生ヲ以テ熟慮スルニ速カニ退校シテ 閣下ニ従ヒ、時

々教ヲ仰ク寸ハ如何ント、技芸運動ノ如キハ過半已ニ卒業セリ、今ヨリ後ハ読

書ヲ以テ学課ヲ習フモ可ナルカ如シト、是生力見ル所ナリ、併シ 閣下ノ明教ヲ

以テ決セントスルナリ、願クハ 閣下此生ヲ憐ミ素志ヲ伸フルヲ得セシムル寸ハ幸

甚ナラン、生已ニ国ヲ出テ一事成ラサル寸ハ再ヒ国ニ歸リ父母ニ面スル能ハサル也、

多言不敬不堪恐懼縮懇願ノ至、頓首百拝

十二月十六日

兵衛

拝具

山田大先生

閣下